

井尻公民館だより

(令和3年2月1日発行)

<令和3年2月号>

(第203号)

<連絡・問い合わせ先> 館長 窪田 道忠 ()
主事 相澤陸奥実 ()

朝遅き故郷思ふなずな粥

鶴田光子



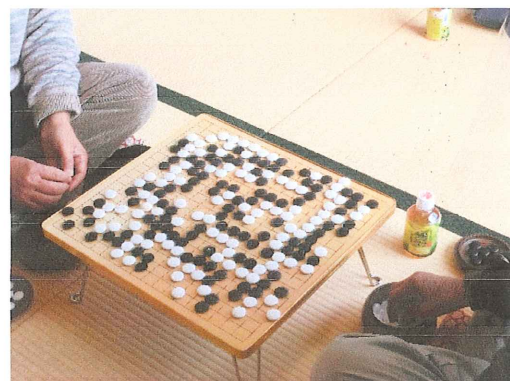
絵手紙愛好会 小澤澄子

今年の元旦は、天候に恵まれ初日の出を拝む事ができました。穏やかな新年でありました。しかしながらコロナの感染が増々の状況であります。コロナ禍の闘いである、目に見えない敵との一年間、経験し学習し多くの事も分かってきたが、現状は厳しい状態ですね。

緊急事態宣言が各地に発令されている中で私達は各々の責任ある行動の遵守にかかっています、長きのコロナ疲れで、気も緩みがちです、ウイルスにつけこまれない予防行動をしっかりと行いましょう。

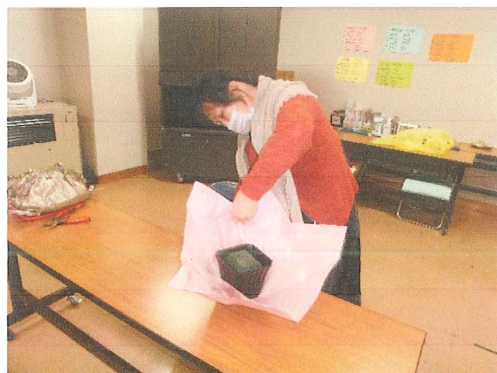
12・1月の活動

松里囲碁クラブの 新春囲碁会



昨年の4月から自粛してきましたがしっかりしたコロナ対策の基でのクラブの活動を再開としました。

フラワーアレンジメント教室



岡部信弥 先生



正月のお花飾り付けで、毎年12月28日に
この教室を開いております、これで、新しい年を迎えました。

お知らせ

ふれあい祭（文化展） 開催の件

ふれあい祭の開催は来る3月6日（土）～7日（日）のは予定しております。
現在（1月17日）は 感染拡大で各地での緊急事態宣言で自粛の現状です。
当地域の状況は落ち着いている様子ですが予断を許さないです、**開催の有無**と内容については
3月の「公民館だより」にて掲載いたしますが、文化展へ参加の方は出品の制作は続けて
ください。

古文書から学ぶこと

松里史跡研究会と言うグループが有り、松里地区の史跡を古文書・古図面・現地調査等の史実に基づいて調査探索をしております、古文書は所有している地域の方々のご協力を頂き調査を行なっています、私もグループ活動の一員ですが歴史の深さのロマン感じています。

ここに、古文書、古図面から堰についての記述がありこれの調査を行いました。

堰・・・「せき」と読みます意味一般的には取水や水量のため川の途中や池、湖の流れ出口などに設けて流れをせき止める構造物とありますが、ここでは人が作った堰も含んだ河川水路を言っています。

水はあらゆるもの生命の源であり、河川の周辺では縄文、弥生時代の土器が発見される様に、水場での居住があった。我がふるさと松里地区は昔から水が豊かで農産物の生産量も多く、豊かな地域である、この基盤となる用水路すなわち堰である、この地域を潤すため笛吹川から取水する堰は上流から各々、藤木堰、小屋敷堰、井尻堰の三つの堰があった、この地域の社会基盤となっていた。

これらの堰は江戸時代後期に編纂された、「甲斐国志」にも記載されており、藤木堰は八箇村堰、井尻堰は四箇村堰とも呼ばれている。又、小屋敷の田邊家所蔵の宝永5年(1708)古図面の記載からも伺えた、甲州市文化財課の指導のもとで、今迄わからなかった笛吹川からの取水口近傍の現場発掘調査を行った、その結果、井尻堰で堰幅約210cm堰の存在を確認した、当時のこのような大規模堰の建造を地域住民の普請によって行われたことは強力な支配者の存在があったのではないかと、藤木堰、小屋敷堰も同様に行われ堰のネットワーク出来上がったと思われる。

恵林寺の創建元徳2年(1330)開山夢窓疎石は築山や滝・池の庭園を造っており鎌倉時代には既に小屋敷堰があったと推定される。

大正13年からの笛吹川に水力発電所の建設・運用に伴いこれら堰の取水は発電所水路よりの分水利用に変わっても堰の基幹水路や支流などの堰ネットワークは現在にそのまま引き継がれている、そうして堰にも沢山の分水があり地域の全て田畑を潤すばかりでなく生活用水としても利用されていた、井尻堰は三日市場下地区、上井尻地区に18箇所の分水が有ります、上水道が完備され、又、稲作から果実栽培に変わり、堰からの水の利用が少なくなってき堰の重要が失われて来ている。

これから、我々は先人の残した遺産を日常的大事に管理し、ホタルの生息出来る水質保全も図り堰を守っていきましょう。

井尻堰解説看板(写真)を調査に基づき、設置しました、武士原地区の網野末彦さま敷地内川縁に設置しておりますのでご覧ください。

古文書は歴史の記録の宝庫でありこれからも色々な古文書に挑戦していきたいですね。



(俳句)

(井尻公民館俳句愛好会)

2020/12/22

冬麗の空雲梯の子の笑顔

(三柵 淳)

スーパで買ひし七草打ちにけり

(野村かね子)

路地の子の靴の鈴音年新た

(増田英仁)

七草粥ふつつ厨満たしゆく

(三森美恵子)

なすな摘む野辺やはらかく陽のありて

(飯島和子)

犬膝に夫淡々と年迎ふ

(小笠原一子)

新年や厨に澄みし水の音

(鶴田光子)

厨より囃し流れ来齋打つ

(小林昂平)

鬼瓦ピカリと光り年明ける

(飯島武志)

(川柳)

(井尻公民館川柳愛好会)

2020/12/25

中庸を良しとじていて何もせず

(久保 晃)

はやぶさII中身に土産無事帰る

(広瀬 勝)

性格の中途半端は親譲り

(三井厚子)

発掘の中の古代は永久の夢

(田辺たみ子)

大掃除アベノマスクを使用中

(古屋典子)

中心がぶれない政治今望む

(雨宮江身子)

若作りしても背中丸くなり

(中村廣一)

綺麗だね鏡の中の独り言

(関口正次)

弁当の中身でわかる妻の情

(飯島武志)

(短歌)

(古屋和子)

新年もコロナコロナで恐れつつ

日々を過して気分は重し

正月の箱根駅伝の二日間

若い走りに感動したり

